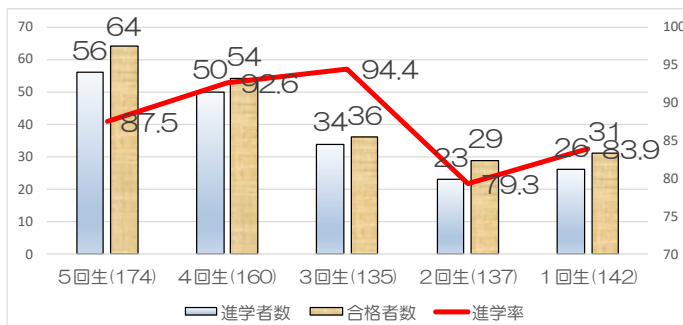


Beyond KUSS , 2020 !!

卒業後のステージ 先輩たちの様子(その2)

右のグラフは国公立大学合格者に関するデータをもとに作成しています。国公立大学合格者数，進学者数，進学者の合格者に占める比率を示しています。

3回生までは卒業生が140名前後と少ないです。卒業生の増加分と国公立大学合格者の増加分は非常に近い関係にあります。進学者数についても同様の状況があります。



進学者の合格者に占める比率は大きく変化しています。1回生は83.9%，2回生は79.3%と80%を切りました。この比率が低い場合、「第1志望」でない国公立大学出願者が多いことを示します。本校は国公立大学合格者を競う指導をしていません。「第1志望」に合格し，進学する支援をしています。3回生の94.4%を頂点に少しずつ低下していることは少々心配です。5回生は，国公立大学後期・中期日程合格者は15名です。内2名が後期・中期両方に合格しているので，実際は13名です。13名のうち4名は合格したけれども進学していません。進学意思のない出願は，本校がめざす姿ではありません。

「第1志望」が私立大学の場合，多様な入試制度を利用することができます。国公立大学は同一大学(同一募集単位)に出願できる機会は限定されています。前期・後期ともに同一募集単位出願者は12名います。ただし，私立大学を含めた一般入試で同一募集単位出願者は3名です。内2名は推薦・AO入試を含め同一募集単位に出願しています。

進学先は1つだけです。それに向けて全力を尽くすことが「第1志望」突破の王道です。

中間考査が始まります

来週，6月3日(月)～7日(金)は春学期中間考査です。6年生は秋学期期末考査がないため，定期考査は3回です。3回の定期考査が6年生各科目の評価の重要な資料になります。実技教科である体育は，日頃の授業の取組により評価の重要な資料になります。

「定期考査と大学入試は関係ない」という人もいます。本当にそうでしょうか。定期考査は授業を通じた学習の到達度・定着度を測定します。大学入試は入学者を選抜するためのものです。大学入試を突破する力は，定期考査で測定する力と共通する部分が多いです。

「定期考査は出題範囲が限定されており，大学入試は全範囲である」という人たちもいます。確かに定期考査は出題範囲が限定されます。しかし，6年生の出題範囲は，1年生の頃と異なり，ずいぶん広い範囲から出題する科目が増えていませんか。中間考査に向けての取組や結果の分析を通じ，大学入試を突破するための課題を見つけることができます。先日の模擬試験，来週からの中間考査を利用し，夏季休業中に克服すべき課題を見つけましょう。授業や定期考査など，学校の活動を自分の学習に位置づけることが大切です。自分の「学び」確立した人は強いです。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

『Beyond KUSS , 2020 !!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。

マーク模試自己採点集計結果

マーク模試の自己採点結果，十分に納得できる得点だったでしょうか。自己採点結果は下表のとおりです。

中間考査が迫っているので，マーク模試を十分に復習できる時間はないと思います。7日(金)に中間考査が終了したら，マーク模試と中間考査の復習を十分に開始してください。

焦る気持ちは全国の受験生に共通です。焦らない方がおかしいです。ただし，焦る気持ちに振り回される人は受験には弱いです。焦りとうまくつきあっていくことが大切です。

マーク模試の得点を嘆くのではなく，なぜ間違っているのか，なぜ〇になってしまったのか，しっかりと振り返り，夏季休業中の学習の材料を見つけ出してください。

省略